

# 衆議院原子力問題調査特別委員会ニュース

【第208回国会】令和4年6月8日（水）、第6回の委員会が開かれました。

## 1 理事の辞任及び補欠選任

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 大西英男君（自民）

補欠選任 理事 ミツ林裕巳君（自民）（理事大西英男君今8日理事辞任につきその補欠）

## 2 原子力問題に関する件（原子力規制行政の在り方）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）公益財団法人原子力安全研究協会理事

山口彰君

国際環境経済研究所理事

東北大学特任教授（客員）

竹内純子君

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室長・准教授

木村真三君

龍谷大学政策学部教授

大島堅一君

（質疑者）神田憲次君（自民）、米山隆一君（立民）、堀場幸子君（維新）、中野洋昌君（公明）、

浅野哲君（国民）、笠井亮君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 神田憲次君（自民）

- （1） 新規制基準適合性審査の審査体制の効率化、合理化を図る必要性についての山口参考人及び竹内参考人の見解
- （2） 東京電力福島第一原子力発電所事故（以下「福島第一原発事故」という。）後の原子力安全規制を含めた原子力の安全性向上の取組についての山口参考人及び竹内参考人の評価
- （3） 原子力発電の位置付けを明確化する必要性についての山口参考人及び竹内参考人の見解
- （4） 原子力に関する人材、技術、産業基盤の強化に直ちに着手する必要性についての山口参考人及び竹内参考人の見解

### 米山隆一君（立民）

- （1） 適合性審査の効率化の必要性、原子力の安全性向上の取組の評価、原子力発電の位置付けの明確化の必要性及び原子力の人材確保の必要性についての木村参考人及び大島参考人の見解
- （2） 原発事故の発生確率が200年に1回程度であれば安全性は十分と言えるか、新規制基準に適合することでこの安全性を達成可能と評価できるかについての各参考人の見解
- （3） 避難計画の規定の在り方についての各参考人の見解

### 堀場幸子君（維新）

- （1） 原子力発電の安全性関係
  - ア 東日本大震災の前後における安全性という概念の変化についての各参考人の見解
  - イ 故障等が生じる人工物のリスクの捉え方及び東日本大震災の前後におけるリスク評価の変化に対する山口参考人及び竹内参考人の見解
  - ウ 住民とのコミュニケーションを通じた安心の構築に関する竹内参考人の見解
- （2） 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）関係
  - ア 避難経路を確定する際のSPEEDIによる放射能拡散予測の活用の在り方についての木村参考

人の見解

イ 大島参考人の資料「ウクライナ規制当局による拡散予想」におけるSPEEDIに類似した技術の使用の有無についての確認

**中野洋昌君（公明）**

- (1) 原子力規制委員会のこれまでの審査の評価及び今後の改善点についての各参考人の見解
- (2) 米国の二階層構造の原子力規制における自由裁量による規制の仕組みについての山口参考人の説明
- (3) 原子力の安全性向上に向け新しい知見の確保等が必要とされる中での原子力規制委員会の現在の取組等についての山口参考人の評価

**浅野哲君（国民）**

- (1) 審査官の判断が審査ガイドより優位にある原子力規制委員会の認識に対する山口参考人、木村参考人及び大島参考人の見解
- (2) 原子力規制における費用便益分析の活用に関する竹内参考人の説明
- (3) 原子力規制行政の中に費用便益分析を取り入れる方策に関する竹内参考人の見解
- (4) 審査会合開催に当たり事前に論点整理を行うことは規制と推進の分離に逆行しないとの考えに対する山口参考人、竹内参考人及び大島参考人の見解

**笠井亮君（共産）**

- (1) 福島第一原発事故の教訓を踏まえずに原子力を最大限活用するとして、効率的な審査、再稼働推進、運転期間の延長などの政策を進めようとする政府の対応についての木村参考人及び大島参考人の評価
- (2) 原発の過酷事故発生時に安全に被曝させずに避難させることの可否についての木村参考人の見解
- (3) 新規規制基準において敷地境界での被曝目安線量に係る立地審査がなくなり、世界最高水準の審査基準に値するとは言えないのではないかとの考えに対する木村参考人の見解
- (4) 除染が十分でないにもかかわらず帰還選択の責任を住民に転嫁する政府の対応について福島の実状を踏まえた上での木村参考人の見解
- (5) 原発事故に係る国民の費用負担の開示の在り方についての大島参考人の見解
- (6) 政府が再エネと原発を最大限活用する方針を示す一方で、両者には負の相関関係があるとする研究成果があることを踏まえ、エネルギー政策を根本的に見直す必要性についての大島参考人の見解
- (7) 小型モジュール炉など新型原子炉の開発に関するコスト面を含めた大島参考人の見解